

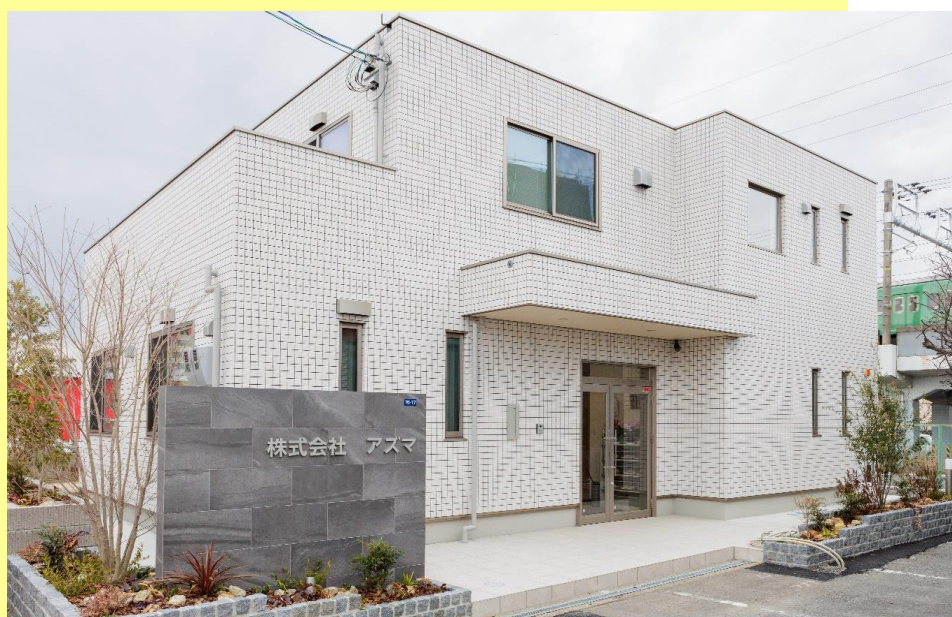
株式会社アズマ

2023 年度 環境経営レポート



認証番号0005426

対象期間: 2023 年 5月1日～ 2024 年 4月30日



発行日

2024年 5月 13日

発行責任者

東 尚子

目 次

項 目	頁
1 . 組織の概要	3
2 . 対象範囲(認証・登録範囲)	3
3 . 過去の主な環境負荷の実績	3
4 . 環境経営方針	4
5 . 実施体制組織図及び役割・責任・権限表	5
6 . 環境経営目標	6
7 . 環境経営計画	7
8 . 環境目標の実績	8
9 . 環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容	9
10 . 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果 並びに違反、訴訟等の有無	10
11 . 代表者による全体の評価と見直し・指示	10
12 . 社会貢献	10

1 組織の概要

(1) 事業所名

株式会社アズマ
代表取締役 東 弘幸

(2) 所在地

本社 〒520-0353 滋賀県大津市伊香立向在地町24番地
事業本部 〒520-0232 滋賀県大津市真野二丁目15番17号

(3) 事業の概要

建設業許可：滋賀県知事許可（特一2）第10210号、（般一2）第10210号
一般土木工事、道路維持保全工事、補修工事、維持管理業務及び工事資材販売業

(4) 事業規模等

売上高 602百万円／年（第44期 2023年度）
受注件数 56件／年（第44期 2023年度）
従業員 13名

※当社の事業年度は、毎年5月～翌年4月までです。

本社
敷地面積（事業場） 1389㎡ 自己所有
事務所床面積 88㎡ "
倉庫床面積 464㎡ "
資機材置場面積 925㎡ "

事業本部 （2021年12月3日移転）
敷地面積（事業場） 450.82㎡ "
事務所床面積 191.18㎡ "
駐車場面積 164.335㎡ "

(5) 環境保全関係の責任者及び担当者連絡先（電話番号等）

環境管理責任者 総務部：東 尚子
連絡先：077-573-3937
連絡担当者 総務部：東 尚子
連絡先：077-573-3937

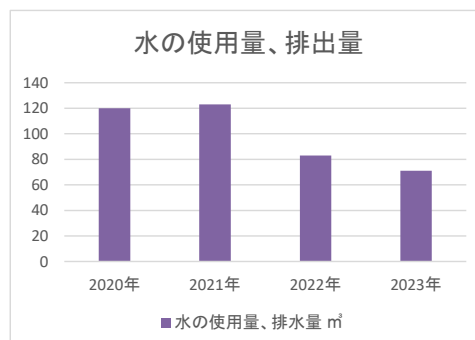
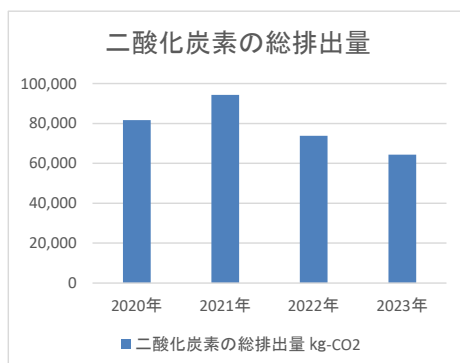
2 対象範囲（認証・登録範囲）

対象登録範囲：全社

認証対象活動：土木工事、道路維持保全工事、補修工事、維持管理業務及び工事資材販売業

3 過去の主な環境負荷の実績

主な環境負荷	単位	2021	2022	2023	2023
		2020年	2021年	2022年	2023年
二酸化炭素の総排出量	kg-CO ₂	81,631	94,259	73,809	64,368
一般廃棄物排出量	t	43	29	41	55
産業廃棄物排出量	t	1,122	15,959	1,846	754
水の使用量、排水量	m ³	120	123	83	71
化学物質の使用量	kg	0	0	0	6.9



4 環境経営方針

株式会社 アズマ 環境経営方針

環境理念

里山と琵琶湖の豊かな自然環境の保全が、当社の事業活動において重要であることから、環境に配慮した循環型社会の構築に貢献します。

行動指針

滋賀県を拠点に近畿一円にて、橋梁や道路などの社会資本の整備や保全・補修工事を行い、また環境に配慮した工事用資材の販売を行う当社は、この事業活動における環境への影響を理解し、従業員と協力してEA21環境経営システムを構築運用し、継続的改善に努め、以下の事項について自主的、積極的に取り組みます。

1. 環境関連法規制を遵守します。
2. 当社は、次の環境活動を計画的に取り組み実施します。
 - ☆ 事務所及び作業所での電気使用量及び重機車両の燃料使用量を減らし、CO₂の排出量を削減します。
 - ☆ 事業活動に伴う廃棄に関して、積極的に分別を実施し、建設廃材のリサイクルを推進し、廃棄物を削減します。
 - ☆ 工事から排水する水の汚濁を防止し、事業所や作業所での節水に努め、水の使用量を削減します。
 - ☆ 環境配慮商品を拡販します。
 - ☆ 事務用品や消耗品は、グリーン購入に努めます。
 - ☆ 環境活動の社会貢献を推進します。
 - ☆ 化学物質を取扱う際は、適切な管理のもとで実施します。
3. この環境方針は全従業員に周知、徹底します。

制定日：2009年12月1日

改定日：2019年 6月2日

代表取締役 東 弘幸

5. 実施体制図及び役割・責任・権限表

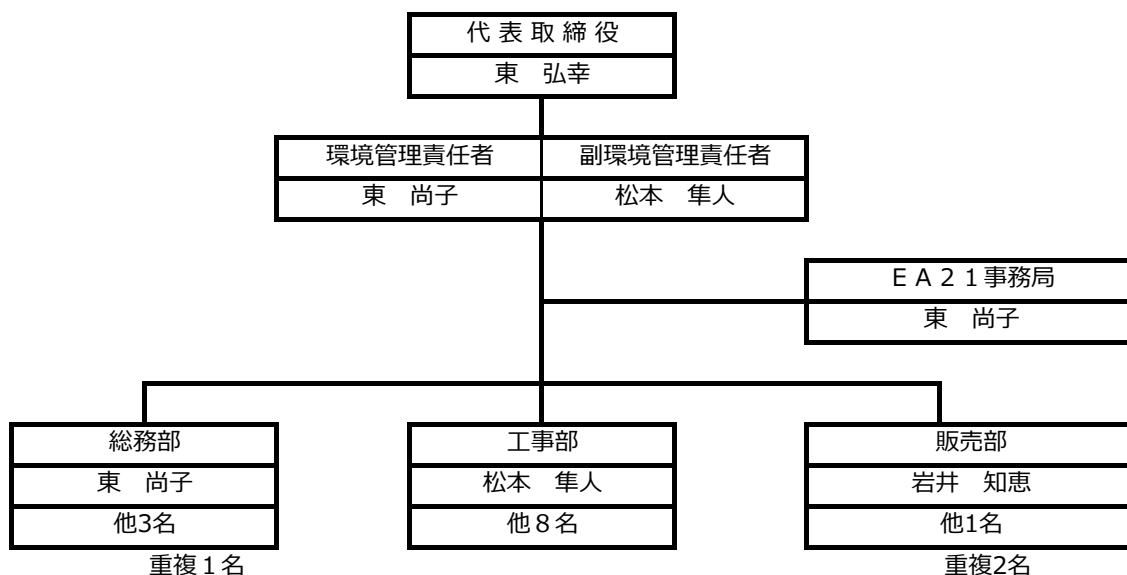
作成日： 2023年5月1日

改定日：

代表取締役 東弘幸

作成者： 東 弘幸

EA21実施体制組織図



役割、責任及び権限一覧

担 当	内 容
代表取締役	①環境経営システムに関する全ての責任と運用についての権限を持つ。 ②代表者による経営における課題とチャンス明確化を図る。 ③環境経営システムの構築・運用・管理に必要な資源を用意する。 (資源には、人材、設備、費用、時間、専門的な技能、技術を含む。) ④EA21に関する運用管理の体制を構築し、環境管理責任者を任命する。 ⑤環境方針の策定・見直し及び従業員への周知を行なう。 ⑥代表者による全体の評価と見直し・指示を実施する。
環境管理責任者	①環境経営システムを構築し、実施し、管理する。 ②環境経営方針及び自己チェック等に基づき環境経営目標を設定し、環境経営計画を作成し、取組状況の確認と環境目標の達成状況を評価する。 ③問題点の是正、予防処置に対する指示と改善や見直しに必要な処置を行なう。 ④環境活動の取組結果を代表者へ報告する。
各 部 門 長	①責任範囲の環境経営目標及び環境経営計画の実施とEA21事務局への達成状況の報告。 ②責任範囲の問題点の発見、是正、予防処置。
EA21事務局	①環境経営システム運営のすべての事務を行なう。 ②環境への負荷及び取組の自己チェックを作成し、環境管理責任者へ報告する。 ③「環境関連法規等の取りまとめ及び遵守状況チェックリスト」を作成し、チェックし、その結果を環境管理責任者へ報告する。 ④環境経営計画並びに運用手順書を作成し、実施達成状況を集計し、環境管理責任者へ報告する。 ⑤文書及び記録の管理保管。 ⑥外部コミュニケーションの窓口。 ⑦内部コミュニケーションの運営管理。 ⑧従業員に対する教育訓練の実施。 ⑨特定された緊急事態に対する項目の手順書作成、テスト・訓練・記録。
全従業員	①環境方針の理解と環境への取組の重要性を自覚 ②決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

6 環境経営目標

環境方針	取組項目	環境目標 (2023 年度)
事務所及び作業所での電気使用量及び重機車両の燃料使用量を減らし、CO ₂ の排出量を削減します。	電力消費量の削減（本社）（kWh）	総量当たり二酸化炭素排出量を2025年までに2022年比98.0%とする
	電力消費量の削減（事業本部）（kWh）	総量当たり二酸化炭素排出量を2025年までに2022年比98.0%とする
	ガソリン消費量の削減（営業・作業所関連）（単位：L）	総量当たり二酸化炭素排出量を2025年までに2022年比98.0%とする
	ガソリン消費量の削減（現場）（単位：L）	総量当たり二酸化炭素排出量を2025年までに2022年比98.0%とする
	軽油消費量の削減（営業・作業所関連）（単位：L）	総量当たり二酸化炭素排出量を2025年までに2022年比98.0%とする
	軽油消費量の削減（現場）（単位：L）	総量当たり二酸化炭素排出量を2025年までに2022年比98.0%とする
	灯油消費量の削減（単位：L）	総量当たり二酸化炭素排出量を2025年までに2022年比98.0%とする
事業活動に伴う廃棄に関して、積極的に分別を実施し、建設廃材のリサイクルを推進し、廃棄物を削減します。	分別及びリサイクルの推進（営業所・作業所関連）（単位：t）	総量当たり2025年までに2022年比90.0%以上とする
	分別及びリサイクルの推進（現場）（単位：t）	工事に伴う廃棄物について分別を徹底しリサイクル率を90.0%以上とする
工事から排水する水の汚濁を防止し、事業所や作業所での節水に努め、水の使用量を削減します。	事業所利用水の節水（単位：m ³ ）	総量当たり2025年までに2022年比98.0%とする
環境配慮商品を拡販します。	環境配慮資材の拡販。（単位：kg）	AACライト、スマイレイ等を2025年までに2022年比110.0%に拡大する
事務用品や消耗品は、グリーン購入に努めます。	グリーン購入の推進（単位：%）	グリーン購入比率を2025年までに2022年比80.0%以上とする
環境活動の社会貢献を推進します。	地域の環境保全活動への参加	社会貢献環境活動を各工事においても実施し、全社合計10件以上取り組む

- 1 電力使用量及び燃料使用量は、総量で管理する。
- 2 廃棄物排出量は、一般廃棄物及び産業廃棄物に対しての総排出量で管理する。
- 3 水使用量については、事務所、作業所における水使用量の削減について実施する。
- 4 グリーン購入については、発注時にエコ商品、グリーン購入製品であるかを確認する。
- 5 上記の目標のほか、作業現場の環境及び品質安全向上ために3S活動（整理、整頓、清掃）に取り組む

7 環境経営計画

方針	取組項目	活動計画の内容	責任部門
事務所及び作業所での電気使用量及び重機車両の燃料使用量を減らし、CO ₂ の排出量を削減します。	電力消費量の削減（本社） （kWh）	①不用時の消灯	総務部 東 尚子
	電力消費量の削減（事業本部） （kWh）	②機械設備・OA機器などのスイッチオフ ③エアコンの温度管理（夏季28℃±1℃）	
	ガソリン消費量の削減（営業・作業所関連） （単位：L）	①不要積載物の有無、タイヤ空気圧の確認 ②暖機運転・アイドリングストップ	工事部 松本 隼人
	軽油消費量の削減（営業・作業所関連） （単位：L）	③環境に配慮した建設重機車両の取り扱い	
	灯油消費量の削減 （単位：L）	③ストーブの温度管理（冬季20℃±1℃）	
事業活動に伴う廃棄に関して、積極的に分別を実施し、建設廃材のリサイクルを推進し、廃棄物を削減します。	分別及びリサイクルの推進（営業所・作業所関連） （単位：%）（一般廃棄物の草・木・外来水草等含む）	廃棄物 ① 使用済みコピー用紙を再利用する。無駄な資機材を購入しない。 ② 分別された廃棄物の2R推進活動を展開する。（廃品回収への協力や回収業者に持ち込む。） ③ 残余資材のリユース・リサイクルを徹底する。	工事部 中川 豊
	分別及びリサイクルの推進（現場） （単位：t）		
工事から排水する水の汚濁を防止し、事業所や作業所での節水に努め、水の使用量を削減します。	事業所利用水の節水 （単位：m）	①水洗トイレの水使用量を減らす。 ②水を流しながらの洗い物はしない。 ③蛇口をしっかりしめたか確認する。	総務部 東 尚子
環境配慮商品を拡販します。	環境配慮資材の拡販。 （単位：kg）	①エコクリーンソイルの販売 ②油吸着材の販売	販売部 岩井 知恵
事務用品や消耗品は、グリーン購入に努めます。	グリーン購入の推進 （単位：%）	①コピー用紙はすべてエコマークを購入する ②文具、事務用品はエコマークを考慮する	販売部 岩井 知恵
環境活動の社会貢献を推進します。	地域の環境保全活動への参加	①美知メセナに参加し、地域の環境保全を推進する。 ②現場環境の保全、地域の清掃活動に参加する ③地域の行事に要する除草、清掃活動を実施する	東 弘幸

8 環境目標の実績

下記は2022年度の実績を基準値として、2023年度（2023年5月1日～2024年4月30日）の運用実績を取りまとめました。

方針	取組項目	年度	2022年	2023年		2024年	2025年
			(実績) [基準値]	(目標)	(実績)	(目標)	(目標)
事務所及び作業所での電気使用量及び重機車両の燃料使用量を減らし、CO ₂ の排出量を削減します。	電力消費量の削減（本社） （kWh）	%	103.1%	99.0%	100%	98.5%	98.0%
		消費量	5,271	5,218	5,270	5,192	5,166
		(kg-CO ₂)	1,761	1,743	1,760	1,734	1,725
	電力消費量の削減（事業本部） （kWh）	%	89.3%	99.0%	103%	98.5%	98.0%
		消費量	8,581	8,495	8,879	8,452	8,409
		(kg-CO ₂)	2,866	2,837	2,966	2,823	2,809
	ガソリン消費量の削減（営業・作業所関連） （単位：L）	%	134.0%	99.0%	111%	98.5%	98.0%
		消費量	1,964	1,944	2,182	1,934	1,924
		(kg-CO ₂)	4,556	4,510	5,063	4,488	4,465
	ガソリン消費量の削減（現場） （単位：L）	%	110.5%	99.0%	86%	98.5%	98.0%
		消費量	12,661	12,535	10,950	12,472	12,408
		(kg-CO ₂)	29,375	29,081	25,405	28,934	28,787
	軽油消費量の削減（営業・作業所関連） （単位：L）	%	133.7%	99.0%	37%	98.5%	98.0%
		消費量	131	130	49	129	128
		(kg-CO ₂)	343	340	127	338	336
	軽油消費量の削減（現場） （単位：L）	%	65.0%	99.0%	83%	98.5%	98.0%
		消費量	13,067	12,937	10,852	12,871	12,806
		(kg-CO ₂)	34,236	33,894	28,433	33,723	33,552
事業活動に伴う廃棄物に関して、積極的に分別を実施し、建設廃材のリサイクルを推進し、廃棄物を削減します。	分別及びリサイクルの推進（営業所・作業所関連） （単位：%）（一般廃棄物の草・木・外来水草等含む）	%	100.0%	90.0%	100%	90.0%	90.0%
		(t/年)	41	37	55	37	37
		(t/年)	1,846	1,661	754	1,661	1,661
	分別及びリサイクルの推進（現場） （単位：%）	%	99.9%	90.0%	100.0%	90.0%	90.0%
		(t/年)	1,846	1,661	754	1,661	1,661
		(t/年)	1,846	1,661	754	1,661	1,661
	工事から排水する水の汚濁を防止し、事業所や作業所での節水に努め、水の使用量を削減します。	%	100.0%	99.0%	86%	98.5%	98.0%
		(m ³ /年)	83	82	71	82	81
		(m ³ /年)	83	82	71	82	81
	環境配慮商品を拡販します。	%	93%	108.0%	28%	105%	110%
		(kg)	20,931	22,605	6,366	21,977	23,024
		(kg)	20,931	22,605	6,366	21,977	23,024
	事務用品や消耗品は、グリーン購入に努めます。	%	-	80.0%	-	80%	80%
		購入率(%)	87%	-	95%	-	-
		購入率(%)	87%	-	95%	-	-
	環境活動の社会貢献を推進します。	件数	-	10	-	10	10
		(件/年)	18件	-	14	-	-
		(件/年)	18件	-	14	-	-

※購入電力の排出係数は0.334kg-CO₂/kWh(関西電力㈱[調整後]2018年度)を使用。

9 環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容

〔評価基準〕 ○：達成、△：≧15%未達成、×：＜15%未達成

方針	取組項目	年度	2023年		目標達否 評価	取組の評価	担当責任者
			(目標)	(実績)			
事務所及び作業所 での電気使用量及び 重機車両の燃料 使用量を減らし、 CO ₂ の排出量を削減 します。	電力消費量の削減（本社） （kWh）	%	99.0%	100%	○	前年と比べてみると一年間ほぼ同 水準の電気使用量である。引き続 き節電に努めていく。	東 弘幸
		消費量	5,218	5,270			
		(kg-CO ₂)	1,743	1,760			
	電力消費量の削減（事業本部） （kWh）	%	99.0%	103%	△	事業本部では夏場にエアコンの故障 があったため、年間の電気使用 量が増加したものの、基準値の 103%という結果であった。今後も 年間を通じて節電に努めていく。	総務部 東 尚子
		消費量	8,495	8,879			
		(kg-CO ₂)	2,837	2,966			
	ガソリン消費量の削減（営業・ 作業所関連） （単位：L）	%	99.0%	111%	△	女性技術者の活躍により、 営業車の現場稼働率が上がり、 その結果、営業所作業 所関連のガソリン使用量が 増加した。これからも女性 技術者の活用を図っていく 方針であるので、使用量は さらに増加していくと思わ れる。	工務部 松本 隼人
		消費量	1,944	2,182			
		(kg-CO ₂)	4,510	5,063			
	ガソリン消費量の削減（現場） （単位：L）	%	99.0%	86%	○		
		消費量	12,535	10,950			
		(kg-CO ₂)	29,081	25,405			
	軽油消費量の削減（営業・作業 所関連） （単位：L）	%	99.0%	37%	○		
		消費量	130	49			
		(kg-CO ₂)	340	127			
	軽油消費量の削減（現場） （単位：L）	%	99.0%	83%	○		
		消費量	12,937	10,852			
		(kg-CO ₂)	33,894	28,433			
灯油消費量の削減 （単位：L）	%	99.0%	91%	○			
	消費量	267	247				
	(kg-CO ₂)	666	615				
上記項目 二酸化炭素排出量の削減	%	99.0%	87%	○			
	(kg-CO ₂)	73,071	64,368				
事業活動に伴う廃棄に関 して、積極的に分別を実 施し、建設廃材のリサイ クルを推進し、廃棄物を 削減します。	分別及びリサイクルの推進 （営業所・作業所関連） （単位：%）（一般廃棄物の 草・木・外来水草等含む）	%	90.0%	100%	○		
		(t/年)	37	55			
	分別及びリサイクルの推進 （現場） （単位：%）	%	90.0%	100.0%	○		
		(t/年)	1,661	754			
工事から排水する水の汚 濁を防止し、事業所や作 業所での節水に努め、水 の使用量を削減します。	事業所利用水の節水 （単位：m ³ ）	%	99.0%	86%	○	節水に努め、水の使用量は ほぼ安定的に一定量となっ ている。前年基準値の86% という結果であった。	総務部 東 尚子
		(m ³ /年)	82	71			
環境配慮商品を拡 販します。	環境配慮資材の拡販。 （単位：Kg）	%	108.0%	28%	×	年間を通じて環境資材の販 売が振るわず、前年基準値 の28%という結果であっ た。拡販の方法を検討する 必要がある。	販売部 岩井 知恵
		(Kg)	22,605	6,366			
事務用品や消耗品 は、グリーン購入 に努めます。	グリーン購入の推進 （単位：%）	%			○	事務用品の購入の際はグリーン購 入商品を確認して購入している。 今後も続けていく。	販売部 岩井 知恵
		購入率 （%）	80%	95%			
環境活動の社会貢 献を推進します。	地域の環境保全活動への参加	件数			○	地域貢献の活動に積極的に 参加できた。	東 弘幸
		(件/年)	10	14			

次年度も引き続き、同様の環境活動計画の内容で取組み、実績を把握する。また下記についても実施する。

- 1 応接室、執務室のエアコンの温度管理は外気温を考慮する。
- 2 本社の清掃、整理整頓に努め、残材の処分を適切に行い、効率の良い作業環境を作る。
- 3 工事現場では周辺環境に配慮した施工ができるよう、コンクリート洗い水や廃棄物処理について環境教育を引き続
き徹底する。
- 4 新たな環境配慮商材の発掘をする。
- 5 化学物質の取り扱いについてはSDSを確認し周知するようにする。

10 環境関連法等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

環境関連法規への違反、訴訟はありません。又、過去3年間に関係当局からの違反等の指摘はありません。

適用される法規制等と遵守状況

法規制等の名称	該当する要求事項	遵守状況
廃棄物処理法	一般廃棄物及び産業廃棄物の管理、排出	適正処理
建設リサイクル法	建設廃棄物のリサイクル促進	適正処理
水質汚濁防止法	公共用水域の水質汚濁の防止の遵守	遵守
騒音規制法	対象特定施設の届出、規制値の遵守	遵守
振動規制法	対象特定施設の届出、規制値の遵守	遵守
自動車リサイクル法	購入時にリサイクル料金の支払	適正処理
資源有効促進法	パソコン、ディスプレイの適正廃棄	適正処理
建設副産物適正処理推進要綱	各計画書・実施書の作成	適正処理
排出ガス対策型建設機械普及促進規定	国の直轄工事での指定建設機械を使用	遵守
建設工事公衆災害防止対策要綱	要綱内の規定の遵守	遵守
河川法	河川管理者にあらかじめ届出	適正処理
消防法	指定数量の1/5以上、指定数量未満の場合、あらかじめ消防長に届出	適正処理
地域ごみ出しルール	一般廃棄物の分別、収集、排出	適正処理
家電リサイクル法	買い替え、廃棄等業者引渡し時にリサイクル料の支払い	適正処理
フロン排出抑制法	回収、運搬、破壊に要する料金の支払い 委託確認書、引き取り証明書の保存(3年)	適正処理
	第1種特定製品(エアコン)の点検記録	適正処理

注:適用される法規制等と遵守状況は環境関連法規等の遵守状況のチェック結果に基づきます。

11 代表者による全体の評価と見直し・指示

本社においては、今後も作業員の体調管理のため、エアコンや冷蔵庫を適切に活用し近年の猛暑に備えていく。
またこれまでの補修工事のほか塗装工事の機会が増えることを踏まえ、接着剤、塗料などの化学物質についてSDSに基づくリスクアセスメントを確実に実施できる体制を整えていく。また工事現場付近の環境配慮対策を徹底していく。環境関連の法規制などは随時確認し、法令違反とならないよう全社員に周知していく。

令和6年5月12日

〔変更の必要性〕

- | | | |
|------------|--|-------------------------------|
| ・環境経営方針 | ☒ 変更なし | ☐ 変更あり |
| ・環境経営目標・計画 | ☒ 変更なし | ☐ 変更あり |
| ・実施体制 | ☒ 変更なし | ☐ 変更あり |

12 社会貢献



▲建設業協会大津支部 地域貢献



▲未知メセナ

